

『CKDシール』で 腎臓を守ろう！

— CKDシールの3Step —



目的：

かかりつけ医や薬剤師、患者が「CKDシール」で腎機能の情報を共有し、腎機能低下時には腎機能を考慮した適切な薬物処方・指導を促進することで、CKDの重症化を予防することを目的としています。「CKD」という言葉や概念を広く浸透させ、啓発に繋げる意味もあります。

活用の流れ：

01



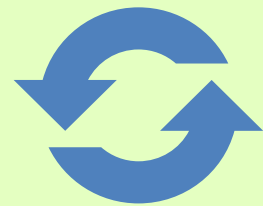
医師または薬剤師が
CKDシールの目的を
患者に説明します

02



患者の同意を得た上で、
医師または薬剤師が
該当する色のCKDシールに
検査年月を記入し、
お薬手帳の表紙に貼付します

03



半年に1回程度の頻度で
CKDシールの更新を行います
(検査の結果、ステージが
変わる場合は適宜変更)

ステージ	G1&G2	G3a	G3b	G4&G5
eGFR区分	60以上	45~59	30~44	29以下
ほか	尿蛋白(+),画像所見	左記は問わない	左記は問わない	左記は問わない
シール				

※緑は、eGFR値 60(mL/分/1.73m²)以上だが、蛋白尿陽性又は片腎等の画像所見で異常がある場合、貼付
それ以外の色は、eGFR値のみで貼付

シールについて：

宮崎県健康増進課ホームページに印刷用データを掲載していますので、ダウンロードの上各自印刷してください
(右の二次元コードからホームページに遷移)。

- ・シールサイズ(1枚)：縦25mm×横24mm程度
- ・シート：A4 1枚で、シール88枚印刷可



1面のダブルシールを準備・印刷して縦横に切るか、44面のダブルシールを準備・印刷して縦に切って使用

*令和8年4月の当初に限りシートを配布します。その後各医療機関・薬局等でシールが無くなったものの印刷が難しい場合、残数があれば送付しますので、県健康増進課にお申し込みください。

CKDシールに係るQ & A (主に窓口用抜粋版)



Q. シールは誰が貼るのか。

- A. 医師又は薬剤師が貼ることを想定しています。
医師 …患者の検査結果からeGFR値を把握して貼付(医師の指示で看護師が貼付することも含む)
薬剤師…患者の検査データを確認させてもらう際、eGFR値が確認できる患者はその数値に基づき貼付

Q. 薬剤師がシールを貼ることは、慢性腎臓病(CKD)と「診断」することにならないか。

- A. このシールはeGFR値などに基づき機械的に貼るものであり、「診断」には当たらないという整理です。診断ではなく、「患者の自覚を促す」「患者の腎機能情報の共有」「適切な処方によるCKDの重症化の予防」のために貼るものと御理解ください。

Q. 薬剤師はどうやってeGFR値を確認するのか。

- A. 処方箋に検査値の記載がある場合又はマイケ保険証により情報が確認できる場合は、そちらを御確認ください。あるいは患者に検査結果を提示いただける場合は、そちらで数値の確認をお願いします。

Q. 患者に対し、どのような内容を説明すればよいか。

- A. Q&A【全体版】No.1のような目的・趣旨を御説明ください。
…慢性腎臓病(CKD)であることを示すシールではなく、医薬品の適正使用に用いるシールであること。
腎臓の働きに応じて薬の種類や量などを考え、薬の悪い影響が出ないよう患者さんの身体を守るもの。

Q. シールはどのように貼るのか。

- A. 医師又は薬剤師が患者に目的・趣旨等を説明の上、同意を得た場合に、検査年月を該当する色のシールに記入し、お薬手帳の表面に貼ってください(表面に貼るのは目立つようにするため。氏名が隠れなければどこに貼っても構いませんが、その後もシールを貼ることを見越して貼る場所を決めてください)

Q. シールを貼った患者は何をすればよいか。

- A. 腎臓のかかりつけ医以外にかかる時や薬局にかかる際は、医師や薬剤師に対し、必ずお薬手帳を見せたり、CKDシールを貼付されている(eGFR等がよくない)ことをお伝えください。

Q. シールは定期的に更新するのか。

- A. 半年に1回程度の頻度で更新をお願いします。
・色が変わらない場合は新たな検査年月を記入したシールを貼るか元のシールの検査年月を見え消し修正
・色が変わる場合は、新たな色のシールに検査年月を記入して貼付
更新期間内であっても検査の結果シールの色に変更が生じる場合は、適宜更新をお願いします。

Q. 更新の場合、新しいシールは、どこに貼ればよいのか。

- A. 患者さんの同意を得た上で、可能であれば、元のシールの横に貼るなど経過が分かるようにしてください。スペースがない場合は元のシールに重ねて貼っていただいても構いません。

Q. CKD重症度分類(ヒートマップ)では、重症度が原疾患・GFR区分・尿蛋白区分を合わせたステージにより評価し、リスク毎に色分けしているが、そちらと合わせなくてよいのか。

- A. CKDシールは「薬剤の適正使用のための適確な情報共有」を目的とし、シールをその「気づき」とすべく、シールが普及すること、確認を容易にするため、貼付ルールを簡略化しています。
原則として、eGFRの数値によりシールの色を決めており、CKDの重症度分類表のヒートマップとは異なりますので、御留意ください。
・緑(グリーン)…eGFR値 60(mL/分/1.73m²)以上だが、蛋白尿陽性あるいは片腎等の画像所見で異常がある場合
・黄(イエロー)…eGFR値 45-59、橙(オレンジ)…eGFR値 30-44、赤(レッド)…eGFR値 29以下

県民の皆様の腎臓を守り、地域の健康寿命を延ばすために、御協力お願い申し上げます。